

令和7年3月3日

東部農林水産振興センター雲南事務所農業部

標 題 ニューファーマー研修会を開催しました

(ダイジェスト)

令和7年2月7日（金）に雲南管内の新規就農者や研修生等を対象としたニューファーマー研修会を開催しました。研修会では、「GAPの活用方法」をテーマに、雲南市でGAPの取り組みを経営に上手く活かしている農業者から事例報告をいただき、参加者は、GAPに取り組むことで“省力化”や“効率化”に繋がることを改めて認識する機会となりました。

雲南管内では、新規就農者や就農をめざし研修に取り組んでおられる研修生、青年農業者等を対象にニューファーマー研修を毎年開催しています。今年度2回目となる研修には関係機関を含め14名の参加がありました。

「GAPの活用方法」をテーマに、農林大学校を卒業後、雇用就農を経て、祖父母から経営継承した「ギアファーム」代表星野和志氏が「持続可能な農業経営を達成するためのGAP活用事例」について事例報告を行いました。

星野氏からは、GAPの活用手法として（前年度の栽培等を参考に）今年度の計画を立てる際、ムダの洗い出しやより効果的な栽培管理方法、資材の検討を行うことで、効率化を図っている点や、記録した各帳票類より、減収の要因分析や販路の見直し検討など様々な角度で経営分析を行うことで、結果として4年間でkg単価約1.3倍増に繋がったといった事例を紹介いただきました。

「持続可能な農業経営を行うために、GAPを積極的に利活用することで儲かる農業を実現する」という言葉は参加者に強く響き、参加者からは「GAPを経営改善に利用する事は考えたことがなかったが、大切な1つの視点と思った」といった意見があり、気づきに繋がったと思います。

事例発表終了後には2グループに分かれ、GAPについて意見交換会を実施し、今後、美味しまね認証を取得予定の研修生の悩みを共有し、解決に向け、すでに認証取得した就農者がアドバイスする場面もありました。これを機により交流が深まり、活動の発展につながればと思います。

今後も農業部では、若手農業者の技術・経営管理能力の向上、研修や交流の場の提供、及びGAPの活用つながるような情報の提供等に努めていきたいと考えています。



写真1 事例発表の様子



写真2 グループワークの様子